



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成28年7月25日(月)～ 27日(水)
2. 研修項目 ① さっぽろ学校給食フードリサイクル事業
② 地方議会総合研究所集中講座～議員定数
③ 北海道庁本庁舎(北海道の歴史資料)
④ 北海道立アイヌ総合センター(アイヌ史展示資料)
3. 研 修 先 ① 札幌市教市役所委員会(議員会議室)
② 札幌市北農健保会館
③ 札幌市中央区(北海道庁本庁舎内)
④ 札幌市中央区かでの2.7ビル内
4. 参 加 者 江角敏和 平石誠 小川稔宏 岡野克俊
5. 調査経費 102,300円 (詳細は別紙)
6. 調査研修活動の概要と所感
 - ① さっぽろ学校給食フードリサイクル事業
 - この事業につき、以下の順で調査研究を行った。
 - (1) 「さっぽろ学校給食フードリサイクル」DVD視聴
 - (2) 「さっぽろ学校給食フードリサイクル」事業説明
 - (3) 質疑応答
 - 説明していただいた方。
榊原隆子 教育委員会生涯学習部保健給食課栄養指導担当課長
 - 配布していただいた資料は、以下の通り。



- (1) 「さっぽろ学校給食フードリサイクル」(2016. 6. 23現在)
- (2) 平成27年度「さっぽろ学校給食フードリサイクル」事業の概要
- (3) 平成27年度フードリサイクル提供作物に係る活用状況報告(結果)
- (4) 平成27年度「フードリサイクル堆肥活用校」実施報告
- (5) 平成28年度さっぽろ学校給食フードリサイクル事業計画
- (6) 平成28年度フードリサイクル堆肥活用校実施要綱
- (7) 「さっぽろ学校給食フードリサイクル」連絡会議設置要綱
- (8) 「さっぽろ学校給食フードリサイクル」(札幌市教育委員会)〈パンフレット〉

○ 事業概要

この「さっぽろ学校給食フードリサイクル事業」は、札幌市で従来から行われていたゴミの分別、資源化の一環として、平成18年度より学校給食の調理くずや残食などの生ごみを堆肥化し、その堆肥を利用した作物を給食の食材にする取組で、食や環境を考え、食べ物を大切にする心を育もうとする事業(次ページパンフレット表紙)である。

さっぽろ学校給食フードリサイクル事業のDVD視聴



○ 説明を受けたのち私が質問した内容

- 集められた、生ゴミから堆肥を作られる「(株)ばんけいリサイクルセンター」は、「さっぽろ学校給食フードリサイクル」事業を開始された、平成18年度以前から事業や堆肥づくりが行われていたのか。○ (以前からのゴミ分別資源化事業より)
- 札幌市内の小中学校の生ゴミ回収校が段々増加し、現在では302校で取り組まれる過程で、リサイクル会社へは、市より何らかの財政的支援があったのか。× (堆肥販売で収益を上げる)
- 各学校から生ゴミを集められる、「(一財)札幌市環境事業公社へは、市より支出されているか。○ (教育委員会より)
- リサイクルセンターから堆肥を購入して野菜を作られる農家から給食の食材を購入する価格は、通常野菜と同額程度かどうか。○ (フードリサイクル用で作ってもらっている野菜分は、全て教育委員会にて購入することが条件 ~ 1日14万食分 ~ 給食はセンター化ではない)
- 給食から発生する生ゴミを堆肥化し、その堆肥を使い子ども達が、学校で作物を作っ

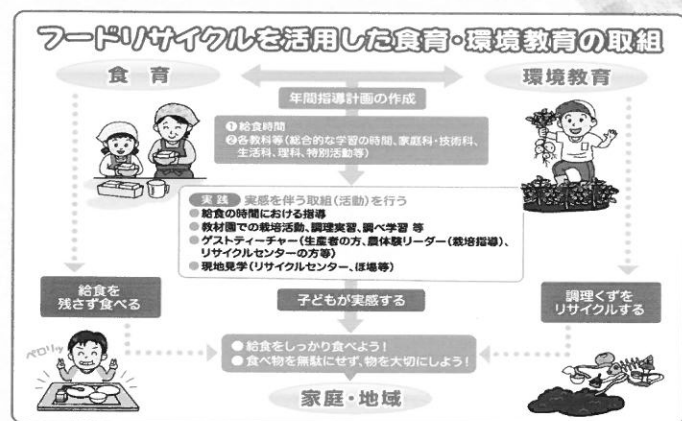


ている堆肥活用校はどのくらいあるか。(小中 302 校中、小学校 144 校、中学校 34 校)

- 事前調査した資料では、この事業開始以降、併行して給食費未納額と未納率が下がっているが、フードリサイクル事業が影響しているか。×△(別の取組が大)
- 「山形県鶴岡市が先行して」というお話だったが、札幌市さんのように全校(302 校)あげてフードリサイクル事業を行っておられるところが他にあるか。(他には無いと考えている)
- リサイクル堆肥を活用する等、環境に優しい農業に取り組む農家の方が生産した農産物を「さっぽろ

とれたってっこ」として認証登録されている、とのことだが、どれくらいの農家の方が取り組まれているか。(リサイクル堆肥使用=「さっぽろとれたってっこ」ではないが、認証農家は 30 %くらい)

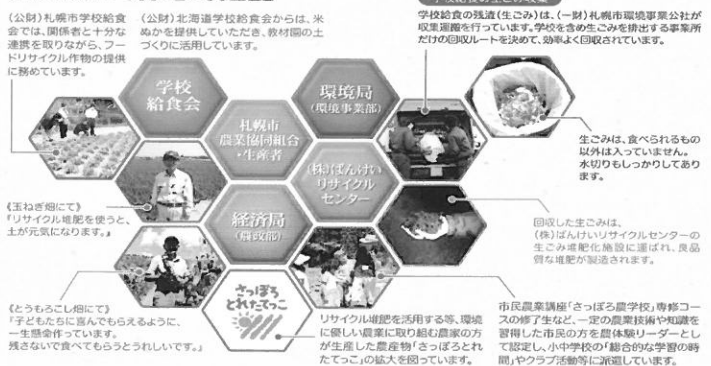
- 「さっぽろとれたってっこ」の認証作物は、価格に影響しているのか。(良く分からないが、「安心安全」が売りだと思)
- 生ゴミは 100 %リサイクルセンターへ持ち込まれるのか。(飼料とは分けられるものの合わせると 100%)



○調査研修の所感

札幌市は、人口 200 万人弱の大都市であるが、にも係わらず市内の小中学校 302 校全ての給食残渣等を対象とした「さっぽろ学校給食フードリサイクル」事業を展開されていることは、もの凄い取組だと感じた。また、

関係局・団体との連携



札幌市教育委員会 生涯学習部健康給食栄養指導担当
札幌市中央区北2条西2丁目STV北2条ビル TEL:011-211-3833
ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/kyushoku/index.html/>



札幌市内で発生する全ての生ゴミが焼却されていないということは、少ない焼却 炉数や、炉への負荷及び事業費の逡減に繋がっていることから鑑みても素晴らしい取組であると感じた。

人口規模が小さな浜田圏域において、生ゴミを焼却している現状から、将来を見据え、堆肥化・リサイクル化を取り入れることを検討すべきと感じた。また、この「さっぽろ学校給食フードリサイクル事業」が、従来より行われていたゴミの分別、資源化が取り組まれていたため、に実現へ繋がったことから、学校給食から考えることも必要だが、生ゴミの未焼却、そして回収・堆肥化、農業利用を政策として考えていく必要があると感じた。

② 地方議会総合研究所集中講座 ～ 議員定数

○ 講師

廣瀬和彦さん

(株)地方議会総合研究所所長

○ 講演項目

1, 議員定数

(1) 意義

(2) 議員定数の推移

(H23～26)

☆ 議員報酬の推移 (H23～26)

☆ 市議会議員定数 (10人以下)

☆ 町村議会議員定数 (6人以下)

☆ 選挙制度の現状

☆ 地方議会議員数の推移①

☆ 地方議会議員数の推移②

☆ 統一地方選投票率推移

☆ 無投票選挙の状況

(3) 地方自治法における議員定数規定の推移 (都道府県)

☆ 地方自治法における議員定数規定の推移 (市)

☆ 地方自治法における議員定数規定の推移 (町村)

☆ 諸外国における議員定数①

☆ 諸外国における基礎的自治体の議員定数②

● フランスコミューン議会の議員定数 (地方自治法典L 2121-2条)

(4) 地方自治法改正の趣旨

(5) 議員定数と人口比例方式

(6) 議員定数条例の提案権

(7) 議員定数削減と議員報酬に関する事例

①豊明市 (平成26年9月定例会) ②山陽小野田市 (平成25年4月)

(8) 地方公共団体との組織全体の均衡状況 (単位:百万円)

(9) 議会の権能を発揮する議員定数における視点

☆ 議会事務局の補佐体制状況 (平成26年12月31日・全国市議会議長会)



☆ 議会事務局の補佐体制状況（平成 26 年・全国市町村議会議長会）

☆ 議会事務局共同設置アンケート結果（平成 27. 9 総務省）

☆ 横浜市市会ジャーナル

(10) 議員定数に関するアンケート調査結果一覧

① 議員数の認知 ② 議員数に関する評価 ③ 適正と考えられる定数

☆ 住民が適正と思う議員定数に関するアンケート調査結果（多摩市・26 人）

☆ 住民が議会・議員に望む役割（豊田市）

(11) H21～H26 年までの市議会議員平均定数推移状況

☆ H21～H26 年までの町村議会議員平均定数推移状況

☆ 都道府県議会人口段階別の平均議員数

☆ 市議会議員人口段階別平均議員数（平成 26 年・全国市議会議長会）

☆ 市議会人口段階別の平均議員数推移 ☆ 人口段階別平均町村議員（平成 26 年度）

☆ 議会の構成（年齢構成）

(12) 議会費の負担状況

① 都道府県決算に占める議会費の割合（H21～H25 年度）

② 市決算に占める議会費の割合（H21～H25 年度）

☆ 各市決算に占める議会費の割合（H25 年度）

☆ 各町村決算に占める議会費の割合（H25 年度）

☆ 市における議会費及び報酬等住民 1 人当たりの負担額

☆ 町村における議会費及び報酬等住民 1 人当たりの負担額（H25 年度）

(13) 議会定数にかかる審議

(14) 議会定数の算定方式

① 常任委員会数方式 市常任委員数（H26 年中）

☆ 町村常任委員会数（H26 年中） ☆ 常任委員会設置規定

☆ 常任委員会規定例 ☆ 人口段階別の常任委員数（H25. 4 現在）

☆ 町村委員会（6～7 人）からの人口段階別議員数（H26. 12. 31）

☆ 市委員会（7～11 人）からの人口段階別議員数（H26. 12. 31）

☆ 都道府県議会（8～12 人）からの人口段階別議員数 ☆ 常任委員会数方式

② 人口比例方式 ☆ 人口比例方式 ☆ 議員 1 人当たりの人口数（フランス）

☆ 議員 1 人当たりの人口数（ドイツ・バーデンヴェルテンベルク）

③ 住民自治協議会方式 ☆ 伊賀市 ☆ 小学校区方式（足立区・71 カ所）

☆ 住民自治協議会方式（または小学校区方式）

④ 議会費固定化方式 ⑤ 類似都市との比較方式（人口規模・財政状況）

⑥ 面積人口方式

(15) 選挙制度に関する考察

☆ 1 票の格差に関する判例 ☆ 京都市会選挙区における状況

☆ 京都市会定数改正 ☆ 今後における選挙制度の考え方

○調査研修の所感

講師の廣瀬和彦さんは、講演冒頭に住民からの議員定数削減圧力は強まっているが、そもそも議員定数を4年に1度議論しなければならないかという、そうではない。議会構成の基本となる議員定数を熟議し1度改正したならば10年や15年くらいは変えない、というのが本筋。また、無投票当選を避けるため4年ごとに議員定数を減らしている議会もあるが、それは議員になろう、という意欲をもてる環境作りがまず必要で、本末転倒である、というお話をされた。そうした基本的な認識のもとで、前記した項目に沿い、以前、浜田市議会が議員定数のアンケート調査を行った内容等も含め、前記の項目に沿って詳しく話された。浜田市議会として、設置された議会改革調査検討特別委員会でも議題にするかどうかも含め、意見反映していきたい。

◎ 北海道庁本庁舎（北海道の歴史資料）



◎ 北海道立アイヌ総合センター （アイヌ史展示資料）

